年率10%を達成する!

# プロの「株(かぶ)」勉強法(べんきょうほう)

柯井駿介(かこい しゅんすけ)

つばめ投資顧問代表 投資系YouTuber


# A BEGINNER'S GUIDE TO THE STOCK MARKET


SHUNSUKE KAKOI



CROSSMEDIA PUBLISHING

# 年率10％運用は簡単なのか!?

## 株式投資はギャンブルか？

**生徒：**先生、株式投資やってみたいんです！ 将来に備えて投資が必要だって言うし、友だちもみんなはじめてるみたいなんです。

**先生**：そうか、君もそんなことを考えるようになったか。株式投資は素晴らしいぞ。今すぐはじめてみたらいいんじゃないかな。

**生徒**：でも、正直不安なんです。だって、両親は「株なんてギャンブルだからやるもんじゃない」って言ってるし、失敗した人の話もよくネットで見ます。

**先生**：投資に失敗はつきものだ。でも、競馬みたいなただのギャンブルじゃないこともたしかだ。カギは「勉強」だよ。勉強することで失敗を減らせるし、時間をかけるほど成功しやすくなるものだよ。

**生徒**：そうなんですか！投資の勉強してみたいです。教えてください！

# まずはお金を投じることから！

**生徒**：具体的には何から勉強したらよいですか？

**先生**：そうだな、まずは証券口座をつくってみて、自分のお金を投資してみよう。

**生徒**：えっ、そんないきなりですか？ お金持ってないですし、失敗して損するのは嫌です。

**先生**：その気持ちを乗り越えるのが第一歩だ。投資で失敗しない人はいない。自分のお金で失敗してこそ、より勉強に身が入るものだよ。それに、今は数千円から投資できる時代だから、参考書代だと思えば高くはないんじゃないかな。

**生徒**：その参考書代、投資で取り返せますか？

**先生**：大丈夫！ はじめは失敗するかもしれないが、続ければ必ずうまくいく。やり方を間違えなければ、年率10％くらいなら十分狙えるはずだよ。

**生徒**：年率10％なら、10万円投資すれば1万円になりますね。参考書代にはなりそうです。そのやり方教えてください！

［プロローグ］

# 勉強法として株がすごい理由

**勉強し続けた人だけが、投資のプロになれる。**
**そして、正しい勉強法、つまり、正しいリサーチ、アプローチができた人だけが、この世界について把握し、未来を切り拓くことができる。**

「勉強法」と題したこの本を手にとっていただいたあなたは、きっと熱心な勉強家でしょう。もしそれが正しければ、この本はあなたにとって有意義な本になることを約束します。

なぜなら、**この本の主題である「株式投資」を勉強することで資産を増やせることはもちろん、世の中の仕組みを正確に理解し、最終的には資本主義社会を生き抜く上で大切なスキルを身につけることができるからです。**そんなうまい話があるものかと思っていますか？　それなら、実例として私のことを話しましょう。

私は鹿児島県の片田舎に生まれ、県内の公立高校から東京大学経済学部に進学しました。東大に進学するくらいですから、それなりに勉強はできた方だと思います。**東大では最先**

端の金融理論を学びました。

しかし、それで金融のことが分かったかといえば、答えは「Ｎｏ」です。就職先は、自分が金融を学んでいたこと、当時「投資銀行」がブームになっていたこと、そして就職人気ランキングで上位に入っていたという「いかにも」な理由で、大手証券会社の投資銀行部門を選びました。

投資銀行といえば、激務ながら高給取りで知られていました。ここに入れば、東大に入った「もと」がとれるくらいには稼げるだろうと考えたのです。

ところが、内定式の直前となる２００８年の９月、米国の大手投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻しました。いわゆる「リーマン・ショック」です。世界の金融は大混乱に陥り、内定取り消しも相次ぎました。同じゼミに所属していた友人はまさにリーマン・ブラザーズに内定をもらっていましたが、当然その話はなくなりました。自分も同業でしたから、内定取り消しに遭うかもしれないと戦々恐々としていました。

そこまで厳しい状況に陥ってはじめて、私はリーマン・ブラザーズを破綻に陥れたサブプライムローンや投資銀行のビジネスモデルについて、「自分ごと」として本気で調べることになったのです。

幸い内定取り消しには遭わず、無事入社することができたのですが、最初のボーナスはわずか「10万円」でした。新卒とはいえ、当初思い描いていた金額からするとあまりにさびしい金額です。

つまり私は、**金融のことを学んでいたのに、金融の世界で現実に起きていることは何も分かっていなかったのです。**

もし大学時代から投資に取り組んでいたら、この金融危機に関して敏感になれたかもしれません。なぜなら、私が就活に取り組んでいた２００７年には、サブプライムローンの危険性は投資家の間では知られていたからです。少なくとも、就職先を人気企業ランキングから選ぶというような愚行を犯すことはなかったでしょう。

しかし、**幸いにして証券会社では株式について多くのことを学びました。**

何よりよかったのが、**多くの会社の有価証券報告書**［勉強法❶］**を見る機会に恵まれたことです。**この資料には、会社の成り立ちから経営理念、今後の方向性や従業員の平均給与まで書かれています。これを見れば、自分に合っている会社、今後伸びそうな会社、そして給料の高い会社までたいてい見当をつけることができるのです。

就職だけではありません。その知識をもっと直接的に活かせるのが、株式投資というこ

**勉強法❶：有価証券報告書**　上場企業等に作成・提出が義務づけられている資料。100ページ超あり、投資判断に必要なあらゆる情報がまとめられている

とになります。有価証券報告書の情報から企業の優劣や方向性を読み解き、将来性のある企業に投資することによって、資産を大きく増やすことができるのです。

そう考えた私は２０１６年に会社を辞めて、投資顧問会社「つばめ投資顧問」を立ち上げました。同時に、証券会社時代は制限されていた個別株への投資も開始しました。

それからの投資は、必ずしもうまくいったものばかりではありませんでしたが、間違いなく言えることは、続ければ続けるほど、その会社や社会に対する理解が深まっていったということです。

つばめ投資顧問では、長期投資を推奨しています。短期間のうちに売買を繰り返すのではなく、一度投資した企業はずっと追いかけることになります。これを続けていると、いつの間にか投資先の業種についてはかなり詳しくなります。

例えば、私が推奨して保有を続けているある小売り企業の売上や利益率はほぼ暗唱できてしまうくらいですし、業界のトレンドも掴めるようになりました。ニュースを聞けば、その裏で何が起きているのか、手にとるように分かります。

そうやって知ったことを発表する場として、私が選んだのがYouTubeでした。ここでは誰でも、自由に自分の考えを発表することができます。

ある家具会社に関するニュースについて、YouTubeで自分の意見を発信したところ、一通のメールが入りました。なんとＮＨＫからの取材依頼だったのです！　そしてそのメールでは「家具業界の専門家である栫井（かこい）さん」とされていました。

自分は決して業界の専門家ではないのですが、YouTubeでの発信がＮＨＫにそう言われるくらいの内容だと捉えてもらえたのです。YouTubeで発信していて、他人に認めてもらえるほど嬉しいことはありません。

それではなぜここまでできたのかというと、最大の理由は株式投資を行うことで「自分ごと」として業界のニュースを捉えられたからだと思います。自分が投資している会社のことですから、まずいことがあれば一瞬で何十万、何百万円を損してしまうこともありましたし、まして自分を信頼してくれている多くの会員の方のお金も担っているわけですから、下手なことをするとすべて自分に降りかかってくるわけです。

投資は自分の損得にかかわることですから、嫌でも詳しくなります。これぞ最強の「勉強法」と言えるのではないでしょうか。

さて、この本を執筆している最中、世の中は新型コロナウイルスで、てんやわんやになっています。苦しい思いをしている人も少なくありません。

そんな中、私たち投資家は機敏に動きました。新型コロナウイルスとは何なのか、どのくらい危険性があるのか、それが社会に及ぼす影響は……。様々なことを考え、恐怖に怯えるだけでなく、将来性のありそうな企業を選別し、市場がうろたえている時に買い込みました。その結果、政府の金融緩和政策にも支えられて、株価は平成バブル崩壊後の高値を更新しました。世の中の不安とは裏腹に、投資家たちは着実に利益を増やしているのです。

これを「けしからん！」と思う人もいるでしょう。しかし、少なくとも有望な企業はないかと調べて、リスクをとって投資できたのは投資家の努力の結晶です。投資のリターンは、まさに「自分ごと」として株を勉強した成果の表れなのです。

**株式投資は学問と現実を結びつけ、その結果、投資成績という「実利」をもたらしてくれます。勉強家であるあなたがこれをやらない手はありません。**

まだ元手がないから……と躊躇しているあなたにも朗報です。**今や、スマートフォンアプリ**［勉強法❷］**を使えば1000円程度から株式投資ができる仕組みが出来上がっています。**もやは「元手がない」は言い訳にならないのです。

さあ、この資本主義社会を勝ち抜くべく、今すぐ株式投資をはじめましょう！　この本を手にとったあなたの未来は明るいのです。

**勉強法❷：スマートフォンアプリ**　SBIネオモバイル証券（日本株）、LINE証券（日本株）、DMM証券（米国株）などがあるので、研究してみよう

『プロローグ』勉強法として株がすごい理由……006

## 第1章 投資を「勉強」という観点から考えてみる

1-1 投資＝ギャンブル？ 若い人がそう思わない理由……018
1-2 老後2000万円問題の本当の意味……022
1-3 1億円あっても幸せになれない人々……028
1-4 コロナ・パンデミックで「インフレ」が来る!?……032
1-5 投資の勉強をしよう！ でもはじめ方には要注意……038
1-6 投資本は濫読せよ！ 自分に合った方法を身につける術……040
1-7 失敗しない投資はない。でも諦めなければ必ず成功する……042
1-8 昇進も転職も！ 投資を学ぶ「副産物」……045
1-9 アインシュタインが「人類最大の発明」と称賛した「複利の力」……048

## 第2章 証券口座はどこで開き、何を選択するのか？

2-1 今すぐ証券口座を開くべき理由……054
2-2 対面型証券会社の落とし穴……056

2-3 ネット証券は大丈夫か？……059
2-4 決定版！お勧めの証券会社はここだ！口座の開き方……061
2-5 「NISA」か「つみたてNISA」か。読者にお勧めするのは……065
2-6 株式はいくらから取引できる？アプリの登場で進む株の「民主化」……068
2-7 指値注文と成行注文、どっちがよいか？……072
2-8 幸せの投資には外せない！iDeCo口座も確実に開こう……077

## 第3章 投資しながら勉強法を改善していく

3-1 はじめに「積立投資」を行うべき理由……084
3-2 iDeCoは積立投資に最適の制度……091
3-3 積立投資にお勧めの投資信託……094
3-4 積立投資のコツと限界……096
3-5 スポット投資は「お金持ち」への第一歩……100
3-6 短期投資・中期投資で起きること……103
3-7 日経平均を予想しても勝てない理由……110
3-8 信用取引にだけは手を出すな！……112

# 第4章 個別株に挑戦してみよう


4-1 よく知っている企業を買おう …… 116
4-2 何よりも有価証券報告書を読もう …… 120
4-3 有価証券報告書の読み方 …… 124
4-4 投資で使える便利な情報源 …… 129
① マネックス証券「銘柄スカウター」（無料） …… 130
② バフェット・コード（無料） …… 132
③ 株探（無料・有料） …… 133
④ 会社四季報 …… 135
⑤ 業界地図 …… 137
（番外編）転職サイト …… 138
4-5 押さえておきたい基本用語 …… 140
4-6 長期投資で買うべき企業のポイント …… 143
① 業績が伸びていること …… 144
② 成長意欲があること …… 146
③ ビジネスの強み（堀）があること …… 147
④ 財務的に無理がないこと …… 149
⑤ 割高すぎないこと …… 151
4-7 買ってはいけない銘柄 …… 153
4-8 保有銘柄を増やし、減らせ …… 156

## 第5章 実践！ バリュー株投資


5-1 500円で売られている1000円札を買う……160
5-2 価値を測る「PER」の正しい使い方……162
5-3 買い時は年2～3回……165
5-4 忙しいあなたに最適な「指値注文」……167
5-5 資金管理のコツとギャンブルの「必勝法」……170
5-6 「コロナ・ショック」は買い時？……173
5-7 買った株はいつ上がるのか？……177
5-8 売ることは考えない方がうまくいく……181
5-9 売らなければならないパターン……184
5-10 バリュー株投資で最も大切なこと……187


## 第6章 「投資の神様」ウォーレン・バフェットに学ぼう！


6-1 長期投資の真髄……190
6-2 ウォーレン・バフェットの投資遍歴……194
生い立ち～投資会社の立ち上げ……194
アメックスへの投資……195

大失敗となったバークシャー・ハサウェイ……196
成長株投資へ舵を切ったコカ・コーラへの投資……197
頑として動かなかったITバブル……198
世界を救ったリーマン・ショックでの英断……201
6-3 あなたもバフェットになれる！ 個人投資家がお金持ちになる方法……202
6-4 ウォーレン・バフェットの名言……207

## 第7章 投資と幸せの関係

7-1 お金は「手段」であって「目的」ではない……214
7-2 「お金と幸せの関係」とは？……216
7-3 インデックスへの積立投資、個別株へのスポット投資……218
手順①：「使うお金」と「残すお金」を分ける……219
手順②：確定拠出年金で人生100年時代の安心を……221
手順③：年間投資予算を設定し、スポット投資を実行する……223
7-4 幸せになる投資を実践する、「パイロット運用」……226
7-5 「経済的自由」と「職業道楽論」……230
［エピローグ］株式投資から学ぶことは、東大を出るよりはるかに尊い……233